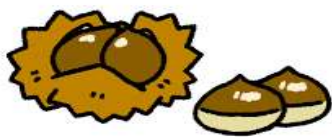


つながる通信 VOL.8



みなさんこんにちは

今年の夏の暑さはからだに堪えましたね。
みなさんは熱中症など大丈夫だったでしょうか。
外回りをしなければならぬ人が多いと思います。熱中症対策など、本当に大変でしたね。

秋といえば食欲の秋です。今年の秋は豊作のくだものも多いようです。物価高は続いています、旬のおいしいものをたくさん食べて、夏バテした体をリフレッシュして、この冬を乗り切っていきましょう。



令和5年10月から、千葉市では新しい相談機関として「福祉まるごとサポートセンター」が開設しましたので紹介したいと思います。



千葉市福祉まるごとサポートセンターについて

初めまして！今年10月2日にオープンしました福祉まるごとサポートセンター、略して「福まる」です。

「福まる」では、分野、年齢、相談内容を問わず、福祉に関する様々な相談をまるごと受け止めるとともに、複数の関係機関が協力して支援する必要があるときは全体の調整役を担い、各関係機関の役割分担や支援プランの作成、支援の進捗状況の確認などを行っています。

もちろん、あんしんケアセンターを始めとする対象者別の相談支援機関では、現在も、経験や人脈を活かして他の相談窓口と連携しながら支援を行っています。そうした支援体制を維持しつつ、相談支援機関が対応に苦慮する場面で「福まる」がサポート役を担うことで、どこの窓口にも相談しても支援につながる体制を築いていきたいと考えています。

開設したばかりのセンターですが、在宅介護・医療連携支援センターとも連携しながら対応していきますのでよろしくをお願いします。



<福祉まるごとサポートセンターの概要>

- ① 場所 千葉中央コミュニティセンター8階
(中央区千葉港2-1)
- ② 相談受付日および時間
月曜日～土曜日(祝日および12月29日～
1月3日を除く) 8:30～17:30
- ③ 相談方法 電話、FAX、メールまたは来所
【電話】 043-245-5782
または 043-245-5397
【FAX】 043-245-5824
【メール】 fukumaru-sc@city.chiba.lg.jp

～多機関・多職種協働研修について～

令和5年7月26日(水)に、千葉市役所の新庁舎で「多機関・多職種協働研修」を開催しました。

在宅医療・介護連携というと、介護保険を利用した高齢者というイメージが強いですが、高齢者でも精神疾患の既往、8050問題、金銭問題や外国人など言葉の問題を抱えた方などの世帯が増えています。

今回の研修は各制度の相互理解や多機関の連携強化を目的として「千葉市ひきこもり地域支援センター」や「千葉市子ども若者総合相談センターLink」について講演していただきました。事例紹介では認知症初期集中支援チームとあんしんケアセンターを中心に多

令和5年10月 発行

機関が協働で対応したケースについてディスカッションしました。

複数の課題を抱えている家庭が増えていくなか、当センターも「福祉まるごとサポートセンター」をはじめ、様々な機関と連携して相談に対応できるようにしていきたいと思います。

～在宅医療・介護連携支援センター～

相談内容 その1

当センターは、専門職向けの相談窓口ですが、時々市民の方から電話を受けることもあります。ネットでの検索や、色々な人に相談して当センターを知ったという方もいます。その場合は話を聞き、内容に応じて相談先を紹介するなどしています。

今回の方は、高齢の親が入院しているという家族からの相談です。

お話によると医師や病院のスタッフから今後経口摂取は無理だろうと説明を受けました。「高齢の親に胃ろうはかわいそう」と思い、点滴の継続に同意をしました。点滴で元気になれば経口摂取に戻れると思っていたそうです。

リハビリで嚥下の訓練をしても、一向に食事が開始されないことに疑問を感じ、色々なところへ相談し当センターに行きついたとのことでした。

病院では、病状について説明を受け、医師や看護師、リハビリやMSWと話し合い、電話の印象ではきちんと理解されていると感じましたが、それでも口から食事が摂れるようになってほしいと希望しています。病院は常に患者・家族に寄り添い丁寧な説明をしていますが、日々変化する患者や家族の思いに向き合うことの難しさを考えさせられました。

昨今、意思決定支援・ACPについて問題提起がなされ、色々な研修もあります。当センターでも意思決定支援の研修を支援することも多くなっています。今回の相談を受けて、本当の意思決定支援とは…難しいなあと考えさせられました。



相談内容 その2

血液透析や腹膜透析に関する相談が時々あります。今まで血液透析に通院できていたのに、通院できなくなった。認知症が進み血液透析中の安静が保てないなど、どうしたらよいかという相談が多いです。また血液透析から腹膜透析に変更になった等、介護の問題、金銭面、制度の問題等様々な相談があります。

長期間、血液透析していた人が高齢になり、合併症や認知症の問題などこれからますます増えていくだろうと思います。私たちも透析について情報収集し皆さんの相談にのれるようにになりたいと思います。

もし、研修や事例などあれば、ぜひお声をかけください。お願いします。



おしらせ

当センターは総合保健医療センターの大規模改修工事のため令和5年10月10日から千葉ポートサイドタワーへ移転しました。電話番号、メールアドレスは今まで通りで変更はありません。

なお休日救急診療所は工事中も引き続き総合保健医療センターで診療しています。



千葉市在宅医療・介護連携支援センター

千葉市中央区問屋町1-35
千葉ポートサイドタワー11階

TEL : 043-305-5026

FAX : 043-305-5079

Email : renkeicenter.HWH@city.chiba.lg.jp

